



おはなしの

マッチばこ



私達は、おはなしのろうそくに
火をともす マッチです。

この箱が、さまざまな花を放つ
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

11月のストーリーテリング勉強会

2012年 11月14日(水) 午前 9:30~12:00

主催:高知県立図書館 参加者:12人

次回の勉強会は

12月 12日(水)

9:30~12:00 です

場所:当館 3階大会議室

今月のおはなし

1. ホットケーキ 8分

『ホットケーキ(愛蔵版おはなしのろうそく9)』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】ストーリーテリングを図書館まつりで行う事になり、実際聞いていただく為に参加しました。「聞いてもらう」ことはやはり緊張しましたが、自分では思いもよらなかった改善点もわかり、大事な点を実感しました。ありがとうございました。

2. 王子さまの耳は口バの耳 8分

『子どもに聞かせる世界の民話』(矢崎源九郎/編 実業之日本社)より

【語り手から】まだ、お話がしっかりしみこんでいない感じです。

3. チャールズの袋 5分

『幼い子の文学』(瀬田貞二/著 中央公論社)より

【語り手から】好きなおはなしのひとつです。この時期、子どもたちと楽しめるのは嬉しいです。また、瀬田さん訳の松の木の精のようなおじいさんも好きです。

4. 山の上の火 15分

『山の上の火』(クーランダー、レスロー/文 岩波書店)

【語り手から】あきらめず進歩するよう、練習を重ねるつもりです。

5. 石娘の涙 8分

『白いあざらし』(ユーリー・ストリジェフスキー/再話 童心社)より

【語り手から】中学3年生~大人の方にするお話としておぼえました。

6. 三つのねがい

『子どもに語る日本の昔話3』(稲田和子、筒井悦子/著 こぐま社)より

【語り手から】人の語る話を聞いて、子ども達に聞いてもらいたいと思い、引きなおしました。高学年で語れるようになりたいと思っています。

7. 幽霊をさがす 25分

『魔法使いのチョコレート・ケーキ』(マーガレット・マーヒー/作 福音館書店)より

【語り手から】ファンタジーばかりではちょっとという年齢になった5~6年生に語っています。ベリンダは幽霊なのか、そうじゃないのか、聞いている子どもの頭の中もいそがしく揺れ動きながら、物語の進展に集中してそれることがありません。最後にゾクゾクとしてこわさも堪能!こわさもおはなしだから、楽しめるのですよね。

8. 明日(チトニア)(詩) 1分

『花よりも小さく』(星野富弘/著 偕成社)

【語り手から】この詩はお友だちがくださったものです。